



### 10/26 100歳訪問

市長は100歳を迎えられた須崎の森登茂さんを訪問し、長寿を祝いました。長生きの秘訣などの問いかけに森さんは「何でも好き嫌いなく食べること」と笑顔で答えられました。



### 11/16 未来を担う子どもたち

白浜小学校6年生がオンラインにより、市内各小学校6年生に対しニューポート市の特色や下田市との交流について学習発表を行いました。今後、ニューポート市に向けたメッセージ等の映像を提供予定です。



### 11/19 市町対抗駅伝結団式

12/4開催の静岡県市町対抗駅伝競走大会に向け、下田市選手団の結団式を行いました。選手・監督・スタッフが一丸となり、チームの思いをのせたタスキを繋いでゴールを目指します。



### 11/ 4 青少年健全育成街頭キャンペーン

市内の小学校で児童の登校に合わせて、朝のあいさつ運動を行いました。11月は「静岡県子供・若者育成支援強調月間」であり、地域の子どもたちにとってより良い環境づくりに取り組みました。



### 11/18 みらいのしもだを描こう

絵本作家の鈴木まもる先生と下田幼稚園の園児たちで市制50周年を記念する手形アートを作成しました。「大木」と「金目鯛」をイメージして描かれた2作品は、今後市民文化会館での展示も予定されています。



### 11/20 11月18日は土木の日！

県下土木事務所等により「土木の日」イベントが開かれました。会場では建設車両の展示・操作体験、測量体験やパネル展示などが行われ、好天の下、子どもたちの楽しげな声が響き渡る1日となりました。

### 11月の できごと

2日 下田市表彰・下田市技能功労者表彰式  
4日 下田市青少年健全育成街頭キャンペーン  
10日 8020講座  
15日 消防団 分団別演習

17日 寿大学 講座  
20日 わくわくパーク「これば！」音で遊ぼう！  
27日～ アロエの花まつり  
27日 「下田公園」親子散策教室

## 地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎072200



### 1月の予定

- 4日(火) 開放開始
- 6日(木) こま作り (午前・午後)
- 7日(金) こま作り (午前のみ)
- 12日(水) めだかルーム9時～11時30分
- 14日(金) ふれあい遊び ※午後閉館 (清掃・消毒)
- 17日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時  
場所：市民スポーツセンター(サンワーク)
- 19日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 21日(金) 誕生会
- 24日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時  
保健師・栄養士来所
- 26日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
- 27日(木) 鬼のお面作りと節分のお話
- 28日(金) 鬼のお面作りと節分のお話  
ふれあい遊び ※午後閉館 (清掃・消毒)

※予定は変更になる場合があります。

詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



ベビーストミックス



誕生会

赤や黄色で彩られていた木々の葉も、いつの間にか散って、今年のカレンダーもあと一枚となり、慌しい季節がやってきました。感染予防のためにも手洗い、うがいの励行、十分な睡眠と栄養を心がけ、元気に過ごしましょう。また、寒いとついつい厚着をさせてしまいがちですが、暖房で暖まっている室内では着での温度調節を心がけましょう。自分で体温調節ができない乳児には、大人の気遣いが大切ですね。



うさぎルーム (敷根公園)



ハロウィン製作

### こんにちは、市長です

12月10日の世界人権デーに寄せて

紛争、貧困、飢餓やいじめ、差別、等々。21世紀の地球の上で今この瞬間にも悲しい出来事が起こり、誰かが声にならない声をあげています。「ぼくがラーメンたべるとき」という絵本(長谷川義史さん作)があります。最初のページでは、「ぼく」がうちでラーメンを食べていて、そのとき、隣でミケがあくびした、と書かれています。「ぼく」のそばのソファに猫が寝そべっているのどかな風景です。ページをめくると、ミケがあくびしているとき、隣の家のみっちゃんやチャンネルかえた、とあります。みっちゃんは畳に寝そべって楽しそうです。またページをめくると、そのまた隣の家のたいちゃんがシャワートイレのボタンを押している。そのとき、そのまた隣の女の子が、とページをめくると、子どもたちの楽しそうな日常のシーンが続きます。やがて物語はよその国に移り、どこかの国で女の子が赤

ちゃんをおんぶしています。そのまた向こうの国では井戸で女の子が水汲みしてたりと、厳しい社会環境の下で働いている子どもたちが描かれていき、最後のほうで、殺風景な町はすれで男の子が倒れている絵になります。一人で路傍に横たわっている。そこにはこう書かれています。「そのまた山の向こうの国で男の子が倒れていた。次のページは、夕焼けの絵で、「風がふいている」と書かれ、その次のページは、倒れたまま動かない少年を夕陽が包む、胸に迫る光景です。物語は最後に「ぼく」の家の前ののどかなシーンに戻り、そこに風がふいて、カーテンが揺れています。こんなすごい絵本があるんだ、と衝撃でした。人権。国が違うだけでこんなに格差がある。私たちは想像力をもっていろんな人の様々な苦しみ思いを寄せることが大切なのだ。改めてそう思います。

